

2026年度	科目名	教材・授業研究特論(2)
	英語名	Advanced Seminar on Instructional Materials and Lesson Study(Ⅱ)
	科目属性	専門科目 A群
	担当教員	坂田映子
	単位数	2単位(SC 0単位)

**【授業の目的・ねらい】**

**【授業の概要】**

本特論(2)では、教材・授業研究に関する教育実践研究とは、どのような研究を指すのか、文献や自身の教育実践を再考する。具体的には、これまでの現場での実践に、「新たな視点」を取り入れた教育実践研究レポートとして執筆、考察するとともに、結果の有効性や有用性、社会的に意義ある結果を得ていることを示すなど、授業研究の視野を広げることを目的とする。

**【授業の到達目標】**

授業の到達目標は、以下の通り。

授業の到達目標は、以下の通り。

1. 授業研究の手法(特に、これからの質的研究法)を理解することができる。
2. 研究デザインの設計、実践・評価・考察について、教育実践研究レポートにまとめることができる。
3. 自身の教育実践研究を再考し、分析・考察することができる。

**【授業計画】**

第1回 授業研究における現場の現状と課題

第2回 授業研究の再考

第3回 授業力向上と実践的指導力

第4回 授業研究を教育実践論文にするために

第5回 教育実践研究レポートの構成の仕方(下記参照)の理解

第6回 授業研究から授業改善へ

第7回 研究デザインレポートの実践に関するデータ収集

第8回 テキスト『これからの質的研究法』第3章「協働的な話し合いを支援する教師の即興的思考の研究—授業談話とインタビュー記録の分析によるリヴォイシング時の教師の思考の検討」を読む

第9回 テキスト『これからの質的研究法』第6章「デザイン研究による学校の持続的な改善—子どもたちの学習過程の発話データや学習成果の記録を活用して」を読む

第10回 テキスト『これからの質的研究法』第9章「授業観察経験の比較文化研究—ベトナム 教師のナラティブ分析から」を読む

第11回 第8回～10回を参考にしながら、自身の教育実践研究レポートを書く

第12回 教育実践研究レポートの推敲

第13回 教育実践研究レポートの評価・修正

第14回 考察

第15回 課題と今後の展望

**【評価方法】**

「レポート評価」(50%)、「科目修得試験」(50%)による総合評価。

**【教科書】**

1. 秋田喜代美・藤江康彦(2019)『これからの質的研究法～15の事例にみる学校教育実践研究～』

東京図書株式会社 ISBN978-4-489-02307 C3011

2. 菊地 章(編)兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科共同研究プロジェクト(w)研究グループ(著).

(2021)『博士号につながる「教科教育実践学」論文の書き方－院生・修了生・教員が明かすアクセプトの秘訣－』九州大学出版会 ISBN978-4-7985-0297-7

**【参考図書】**

1. 関口靖弘(2013) 教育研究のための質的研究法講座、北大路書房 ISBN 9784762828906

2. 高垣マユミ編著.(2010). 授業デザインの最前線Ⅱ－理論と実践を創造する知のプロセス, 北大路 書房.

ISBN-10: 4762827088 ISBN-13: 978-4762827082